

## 日本の高齢化と地域活性化

報告者 久嶋恵弥  
佐々木大成

### 目次

1. 日本の少子高齢化の現状
2. 地方の過疎化・高齢化
3. 高齢者をどのように活用するか
4. 多摩ニュータウン
5. DMO と事例紹介
6. まとめ

### 問題意識・研究目的

日本の少子高齢化が加速している中、若者の地方離れも進んでいて、地方の企業では人手が足りない、町は活気がなくなっているなどといった状況となっている。

そこで、地域活性化のためにどのような手段で何ができるのか、動ける高齢者の方々をどのように活用していくのかなどといった所に焦点を当てて研究し、解決方法を検討する。

### 内容

- ・日本は現在進行形で少子高齢化が進んでいる。
- ・地方の若者離れによって、各地域の盛り上がり失われている。
- ・高齢者の方々をどのように活用していくかがカギになってくる。
- ・高齢者に優しい街づくりが進んでいる場所もある。
- ・DMO といった解決策が今後有効になっていくと予想される。

### 結論

- ・少子高齢化はネガティブにとらえがちだが、必ずしもそうとは限らず、前に比べ元気で動ける高齢者も増えていることも事実であり高齢者の活用が重要である。
- ・そういった高齢者の方たちに地域活性化の活動への参加をしていただくなどして、社会に貢献してもらい、「支えられる側」から「支える側」となり生きがいを感じられるように活躍していただくことが重要である。
- ・同時に、高齢者に優しい街づくりも必要なことである。
- ・DMO による地域活性化の事例はまだ少なく、様々な地域で新たなアイデアに基づいた取り組みが求められている。